

自 交 総 連

自交総連は4月6日、第1回中央闘争委員会（第3回常執）を開き、「2017年春闘 今後のたたかい方」を決定した。各地連（本）においては、この闘争方針に従い、春闘前進にむけ奮闘されるよう要請する。

2017年春闘 今後のたたかい方

1 労働組合の存在意義を示す要求獲得にむかって

- 各地連（本）における要求提出状況を再チェックし、一職場一重点要求の設定を含め未提出組合への援助・指導を引き続き強化する。
- 4月中決着をめざすとりくみの強化をはかる。そのため、要求前進をめざす統一行動ゾーン（4月9～15日）に続き、春闘決着をめざす統一行動ゾーン（4月24～28日）の配置を行う。各地連（本）は、統一行動ゾーンに、交渉・回答引き出しを集中させ、中核的組合の早期決着を促進するため、ストライキを含む戦術配置のもとに追い上げをはかる。
- 春闘解決に際しては、次の3点を重視する。
 - 第1＝賃上げと一職場一重点要求の実現
 - 第2＝白タク合法化阻止や地域的政策要求実現にむけた共同の確認
 - 第3＝納得のいく内容での集約（全体的合意）と労働協約締結

2 倒産対策を重視し、働く職場と労働債権確保、労働組合の存続を

- すべての地連（本）は、警戒心を強め、倒産・廃業対策会議や学習会を計画し、ことあれば即時対応できる体制を確立できるよう努める。なお、緊急時における本部からのオルグ派遣等については、関係地連（本）と調整の上、必要な対応措置を講じていく。

3 悪政ストップ、憲法擁護、生活向上をめざす国民的共同のとりくみ

- 全労連は4月15日を最賃・ディーセントワークデーとし、市民運動エキタスの呼びかけに応じて、東京・新宿で最賃引き上げの集会・デモの成功に全力をあげることにしている。首都圏を中心に参加していく。

- 第88回中央メーデーは5月1日、働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそうとの位置付けで、中央では代々木公園で開催される。中央および全国で開催されるメーデーを大きく成功させるため、中央・地方でとりくみ強化をはかる。
- 5月3日に東京・有明臨海防災公園で行われる「施行70年 いいね！日本国憲法、平和といのちと人権を！5・3憲法集会」に首都圏を中心に参加していく。

4 組織拡大を重視し、職場・地域内での加盟促進を

- 組織強化拡大月間(3～5月)前段の到達点をふまえ、すべての地連(本)は、一桁組合の解消、職場内多数派、未組織の組織化の課題を重点にとりくみ強化をはかる。また、ブロック協議会の機能を発揮し、計画されている組織化のための宣伝行動を成功させる。

以 上